

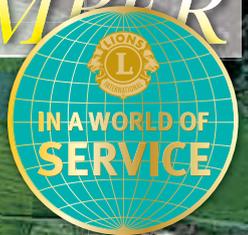
# Lion

IWATE

2012.9 **SEPTEMBER**

332-B地区 アクティビティスローガン

あした  
強い絆で 創ろう未来



訪問日:8月24日(金)

# 1 R 1 Z

盛岡LC・盛岡不来方LC・盛岡中津川LC・盛岡観武LC・盛岡南LC・滝沢LC・玉山姫神LC

## 『過去にとらわれず、前進・改革、そして“楽しく”』

1R1Z ZC L.篠木 清 (滝沢LC)

1R1Z・7LC合同のガバナー公式訪問が、8月24日(金)盛岡市の盛岡グランドホテルに於いて133名の参加で開催されました。

キャビネットより、千葉龍二郎ガバナー、小野寺宜文幹事、依田修一会計、村上謙副幹事、4名のご出席をいただきました。

ガバナーから、クラブ三役会議、公式訪問のご挨拶の中で、復興元年の今年ガバナーに就任された思い、ガバナーテーマ「We Serveの心で一隅を照らす」震災復興には、物・金・心が必要。今被災地が、どのような状況下にあるのか、現状を把握、的確に受け止め、本当に必要とされることに、取り組もう。

また、ガバナー重点項目、GMT(会員増強)、GLT(指導力育成)、青少年の健全育成・ライオンズクエストの深化、地域間・クラブ間交流の推進について、ライオンズクラブの魅力づくりのために、全会員が取り組んでほしいと述べられた。

地区キャビネットから、幹事報告、会計報告を受け、昼時間のご



訪問の為、ウーロン茶で「We Serve」と声高らかに乾杯し、初秋を感じる、昼食をいただきました。ご訪問のお礼に、いよいよテールツースター登場、盛岡不来方LC牛袋徳道テールツースターが、綾小路きみまろ風に軽快な口調で場を盛り上げます。

さて、公式訪問プログラムでは、ガバナーから2つの嬉しいサプライズがありました。

まず、一つ目は前年度・332複合地区ガバナー協議会議長を務められた、宮田謙地区名誉顧問へ、国際本部より名誉ある「援助のピン」と感謝状が授与され、ガバナーより手渡されました。

二つ目は、女性・正会員(7LC合計25名)へのサプライズ、月とピンクの星が5つ輝くピンをプレゼント。代表として、滝沢LC真田早子幹事が受け取りました。別れを惜しみながらまた逢う日までを合唱、ガバナーご発声により、声高らかに「ライオンズローア」。

和やかで、サプライズもあり、新鮮な気持ちで閉会となりました。

そして、公式訪問の後には、盛岡市へ表敬訪問、盛岡市長と短い時間ではありましたが対談されました。

余談ではございますが、年間約3,000団体の訪問依頼があるそうです。今回は市長の所属クラブでもある盛岡観武LCの協力もあり、短期間でスケジュールの調整が叶いました。

また、7LC三役、担当者の皆様、準備から運営までご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

最後に、今回のご訪問中、ガバナーの印象的だったことは、ライオンズの活動は強制的にはなく、「楽しく」やりましょう。とにかく「楽しく」がとても印象に残っている言葉です。過去にとらわれず、前進・改革する姿勢、千葉龍二郎ガバナーの任期中のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



訪問日:8月24日(金)

1 R 2 Z

岩手LC・葛巻LC・二戸LC・西根LC・安代LC・西根LS

## 『各クラブが抱える課題に新たにチャレンジ』

1R2Z ZC付幹事 L.丹野 洋一 (岩手LC)

8月24日、30度を越える猛暑の中16時20分当初の表敬訪問先である岩手町役場に千葉地区ガバナー以下3名のキャビネット役員が到着。冷房のきかない庁舎で汗を拭き拭き総務課長と懇談し、その後17時から岩手広域交流センター「プラザあい」にガバナー初めキャビネット役員各位をお迎えし、ガバナー公式訪問が1R2Z6クラブ93名の会員が出席のもと開催されました。

17時20分からのガバナー・クラブ三役懇談会は、小野寺キャビネット幹事の司会のもと、当初ゾーン内各クラブの活動状況を報告、その後第1回ガバナー諮問書を中心に質疑応答、意見交換が行われました。

ガバナーの「被災地復興支援」「各事業の実効」等時代に既応した改革を一步踏み出すという言葉に温厚篤実な人柄の中に果断さを併せもち、332-B地区のリー



ダーとしてふさわしいライオンだと痛感いたしました。

18時15分からの公式訪問はゾーン内会員の盛大な拍手に迎えられ、ガバナーを先頭に地区役員が入場、岩手LC伊藤昌幸ライオンの司会で行事が進行、特にガバナー重点目標に至る思考課程をガバナーの説明に引き続き、

キャビネット幹事による2つの改革、2つの改善は今日までの目標の見方とは違う側面から捉え、実行の可能性の追求には強固な意志を持ち、断固実行するという熱意と行動力に私達は励ましをいただき、各クラブが抱える課題に新たにチャレンジを誓った幸いです。公式訪問も西根LSCの花束贈呈でピークに達し、予定時間前に閉会ゴングとなり、直ちに懇親会へと移りました。吉田第二副地区ガバナーの「ウィサーブ」ではじまった会場は更に活気づき、「また会う日まで」では会員相互の手のぬくもりを感じつつ、「いい時間を分かち合えて幸せでした。」との高橋ミノルLSC会長の閉会の言葉にすべてが込められていると思いました。



訪問日:9月10日(月)

2 R 1 Z

花巻LC・紫波LC・石鳥谷LC・大迫早池峰LC・花巻東LC・東和猿ヶ石LC・矢巾LC

## 『奉仕の輪を築く意義深い公式訪問』

2R1Z ZC L.高橋 康郎(石鳥谷LC)

8月28日(火)午後6時15分よりいしどりや新亀家「ダイヤモンドホール」に於いて、121名のゾーン内7クラブの会員参加のもと、ガバナーL.千葉龍二郎・第2副地区ガバナーL.吉田昭夫・地区名誉顧問L.後藤成志他キャビネット役員3名をお迎えし、2R1Zのガバナー公式訪問並びに7クラブ合同例会が開催されました。

当日は、第1回ガバナー諮問委員会を午後3時より行い、7クラブそれぞれの重点目標と年間計画の発表を行いました。

地区名誉顧問L.後藤成志より、この場は①ゾーン内クラブ交流の場②問題解決の場③学習の場である説明がなされ各クラブの苦慮されている内容について意見交換を行いました。

三役懇談会前には、地区ガバナーとキャビネット三役にて花巻市石鳥谷総合支所へ表敬訪問を行い日頃のライオンズ活動について説明いただきました。

ガバナー公式訪問開会にあたり午後5時20分より地区ガバ



ナーを交えた三役懇談が行われ、2012~2013年度の332-B地区スローガンとガバナーテーマに沿って基本方針と重点目標について説明され、目標達成できるようお願いがありました。

7クラブ会長発表の中には、会員増強に苦慮しているクラブの説明、会員の高齢化等に伴う出席率の低下改善検討、活動費用の捻出など現状かかえている問題点について発表がありました。

公式訪問は、式次第に従い厳粛な中で挙行され、石鳥谷LC会長L.佐々木克己による歓迎のあいさつを表された後、地区ガバナーの

紹介、新入会員戴帽式を行いガバナーより直接ライオン帽を戴帽されました。新入会員には名前入りバナーも渡され、新入会員を大切に思われるガバナーの人柄が伺えました。

7クラブ(正)女性会員に対して女性専用のライオンバッジが渡され、これからも活躍いただけるよう励まされておりました。

懇親会におかれましては、各クラブにてガバナーを交えた記念撮影を行うなどキャビネットと各クラブとの親睦も行われ会員間の絆がより深まりました。厳しい生活環境の中、奉仕の輪を築く意義深い公式訪問となりました。

ガバナー初めキャビネット役員の皆様方におかれましては、強行スケジュールの中大変御苦労さまでございました。

今後につきましてもご指導賜りますようお願い致し感謝申し上げます。



訪問日:8月29日(水)

2 R 2 Z

北上LC・和賀LC・北上国見LC・江釣子LC

## 『復興支援と家族会員で活発な意見交換』

2R2Z ZC L.渡邊 和美 (江釣子LC)

8月29日(水)ホテルシティプラザ北上に於いて2R2Zの「地区ガバナー公式訪問」並びに「ゾーン内合同例会」が開催されました。

それに先立ちまして、ガバナーより地元の市長さんを表敬訪問したいとの要望があり、午後4時半より、千葉龍二郎ガバナー、小野寺キャビネット幹事、それと私の3人で高橋敏彦北上市長にお逢いし、ライオンズクラブのアピール並びに懇談をしてまいりました。

5時20分より「地区ガバナーとクラブ三役懇談会」が開かれ、主に今後の復興支援の在り方についてと家族会員の出席率の取り扱いについてでしたが、キャビネットより今年度の方針が示され、またそれに対して予定時間がすぎるほど各クラブより活発な意見交換がなされ、有意義な懇談会だったと思います。

引き続き予定より10分くらい



遅れて、「ガバナー公式訪問並びに4クラブ合同例会」が地区名誉顧問会議長L.高橋晴彦、並びに第一副地区ガバナーL.佐々木賢治のご出席のもとに開会されました。ガバナーテーマ、重点目標などの説明をいただきながら合同例会を終了したところであります。

続いて懇親会に入り非常に和

やかな、ガバナーをはじめとする、キャビネット役員との懇談ができたものと感謝致します。

忙しい中、ガバナー並びにキャビネット役員、来賓の方々のご訪問有難うございました。

また、4クラブの皆様の協力を心より感謝し御礼申し上げます。





▲北上レオクラブから贈られた特大寄せ書きと共に 釜石レオクラブ

# 第33回 レオフォーラム開催

地区YCELレオライオネス委員長 L.佐藤一晶(水沢LC)

9月2日(日) 場所:奥州宇宙遊学館

数を重ねての第33回レオフォーラムが、地区内の5クラブ(一関レオクラブは学校行事のため欠席)のレオメンバーと各クラブのレオ委員等72名の参加で、9月2日奥州市の国立天文台敷地内にある奥州宇宙遊学館で開催された。

この施設は、大正10年建造の旧緯度観測所(現国立天文台)本館として昭和62年迄使用していたが、老地区化に伴い解体の危機を迎えていた。水沢ライオンズクラブ等の市民団体が保存運動を展開、この運動が結実。市に譲渡され、耐震改修工事を行い平成19年

4月に奥州宇宙遊学館としてオープン、以来全国的に珍しい木造の天文科学館として県内外からの多くの来館者で賑わっている。

午前中は、遊学館スタッフによる小学生対象のワークショップ(地球独楽の製作)、河野館長による特別講演(日本人が月に立つ日)。昼食後は、二班に分かれて国立天文台が開発した4次元デジタル宇宙シアター体験、施設見学をして、参加メンバーはしばしばアカデミックな天文科学の世界に浸った。北上レオクラブのメンバーに司会進行の協力を頂き、セ

レモニーが始まり、黙祷、国歌、レオクラブの歌の後、北上レオ小原会長、千葉ガバナーの挨拶と続き、北上レオクラブから釜石レオクラブに復興応援メッセージの特大寄せ書きの贈呈、各クラブの年次報告、体験発表等がありスケジュール通り無事終了。

最後に、レオクラブのない当地区(3R1Z)特に水沢では初めてのレオフォーラム開催で不安もあったが、北上ライオンズクラブ、北上レオクラブの親切な指導のもと無事終了出来たことに感謝申し上げます。

## 当日のスケジュール

- 9:30~9:50 受付(奥州宇宙遊学館)
- 9:50~10:50 開会宣言及びスケジュール説明
- 10:00~11:00 体験学習 奥州宇宙遊学館  
スタッフによる「ワークショップ」
- 11:00~12:00 特別講演会 国立天文台名誉教授  
「岩手発・宇宙未来の話」
- 12:00~12:45 昼食・レオ交流会
- 13:00~13:25 施設内見学
- 14:00~15:15 レオフォーラム



▲会場となった奥州宇宙遊学館



▲北上レオクラブメンバーの司会で進行



▲施設内の電波望遠鏡



▲真剣な表情で施設内を見学

当日は地球や宇宙のしくみを素人にも理解しやすく説明する教材にふれてレオクラブのメンバーと共に、付添いで参加した役員の皆様にも興味深く研修することができたと思います。



田野畑村に昭和40年当時としては日本一の高さを誇る「榎木沢橋」が完成しました。谷底からの高さ105m、長さ240mの大橋です。この橋の完成前にはこの村に赴任してくる役人や教師は、あまりにも深い溪谷に阻まれこのまま行こうか、それとも引き返そうか、いっそここで辞職しようかと悩む通称「思案坂」と「辞職坂」という交通の難所でありました。

このお話は、榎木沢橋建設中のある悲劇と現場に建てられた供養塔にまつわる地元ライオンズクラブの「堅い絆」の物語です。

## 「50年前の悲劇と アクティビティ」

5R1Z 久慈ライオンズクラブ  
前会長 L.對馬博貴

本年6月26日、久慈ライオンズクラブに横浜市在住の齋宮(いつき)さんと名乗るご婦人から電話が入った。事務局に居合わせた当時のクラブ会長である私が、お話を伺うことになった。

齋宮(いつき)さんの話によると、今から49年前の昭和38年8月7日、当時早稲田大学の3年であった兄とその友人2名は山形県をライトバンで出発、秋田・青森を経て国道45号を南進、岩手県田野畑村で「榎木沢橋」架橋前のパイロット橋から転落、兄と友人1名が不帰の客となったとの事であった。

昨年、東日本大震災で三陸海岸は大津波で大変な被害であった事を知り、事故現場の被害状況を確かめたいこと、また、可能であれば現場で50回忌の法要をしたいのご希望であった。

事故から数年後にライオンズ

クラブが供養塔を建立したことを知り、インターネットで調べて事故現場に近い久慈ライオンズクラブに電話を入れたとの事である。

折しも電話があったその日は、ゾーンのガバナー諮問委員会が開催される日。席上、参加者に今日の出来事を説明したところ、50年も前のことを昨日のこのように鮮明に記憶している数名のライオンがいた。供養塔はチャーターナイト間もない宮古岩手ライオンズクラブが昭和42年に建立し、田野畑村に贈呈されていた。現在は地元の田野畑ライオンズクラブが毎年欠くことなく清掃管理していた。

後で知ることになるが、供養塔には事故の遺族、早大同窓諸兄、有志から一部資金の申し出もあり、若き学徒2名の鎮魂と交通安全を祈念し、宮古岩手ライオンズ

クラブのアクティビティとして建立されたことが刻まれている。

これらのことを横浜市のご遺族に後日連絡したところいなく感動され、是非、宮古岩手、田野畑、久慈のライオンズ関係者にお礼し、供養したいとの強いご意向があった。

7月30日現地入りしたご遺族と共に久慈、田野畑、宮古岩手の三クラブの有志が集い、地元宝福寺の住職による読経の中、厳かに50回忌の法要が執り行われた。

「亡き父母も喜んでいらっしゃると思います。これで安心しました。感謝でいっぱいです。」とご遺族からお礼が述べられた。

今回の出来事は、50年も前の宮古岩手ライオンズクラブの隠れたアクティビティが日の目を見た瞬間であり、期せずして、ゾーン内三クラブの感動的な合同アクティビティになった。



▲アクティビティとして建立された供養塔



▲現地での供養

# 『年間特集 第2回』 復興への 槌の音

宮古岩手LC  
会長 L.篠 透

話は今から50年ほど前の、1963年の8月のことになります。

東北地方を車で周遊中の早稲田大学の学生3人が国道45号線を宮古に向かって南下中に、当時工事中であった田野畑村の槇木沢橋で、バリケードを乗り越えて崖に転落して2人が亡くなるという痛ましい事故が起きました。

宮古岩手ライオンズクラブは事故の翌年の1964年4月に設立されました。前途ある若い命を失うというこの痛ましい事故に心を痛めたチャーターメンバーが、亡くなった2人の霊の鎮魂と広く交通安全を願って、ご遺族と田野畑村の協力、そして早大同窓諸兄と有志の篤志を得て、事故現場に交通安全祈願の慰霊碑をチャーターナイト祈念事業として建立しました。

爾来半世紀、この碑は国道45号線を通る車に交通安全を訴え続けてきました。

しかし、現在はこの槇木沢橋のすぐ上に平行して「思案坂大橋」が新しく建設され、槇木沢橋のある旧道を通る車は少なくなりました。事故のことも忘れ去られ、慰霊碑の存在すら気が付く人はほとんどありません。

そんな折の今年6月26日、同じゾーン内の久慈ライオンズクラブに一本の電話が入りました。現



▲現在の槇木沢橋(左下に見えるのが供養塔)

在横浜にお住まいで、事故で亡くなられた早大生の妹さんからの電話で、兄が亡くなった事故現場をこの目で確かめ、可能であれば現場で50回忌の法要を行い兄の霊を供養したいという意向が話されたそうです。それから、久慈ライオンズクラブの多大なご尽力と現地田野畑ライオンズクラブのご協力で、ご遺族の願いが実現の運びとなりました。

7月30日、遠く横浜から3名のご遺族の方が現地を訪れ、3クラブ代表会員参列のもと田野畑村宝福寺の住職によって50回忌の法要が厳かに執り行われました。「兄は家族の期待の星で、私にとっては憧れの存在でした。50年前のあの時の悲しみは今でも憶えています。来てよかった。50年間の思いが…」と述べていたご遺族。

3クラブのアクティビティが長い間ライオンズ仲間によって受け継がれてきたチャーターメンバーの思いや願いとこの50年の時の流れを紡いだ、意義ある感動の1日となりました。

奇しくも宮古岩手ライオンズクラブは、来年50周年を迎えま

す。東日本大震災では会員の半数が被災しました。活動に参加できるのも決まった顔ぶれです。会員増強を目指して頑張っていますが、会員数を維持するのが精一杯の現状です。それでもキャビネットを初めとして多くのクラブや仲間を支えられて、やれる範囲で何とか活動しています。

今、震災支援活動は、「物の支援」から「心の支援」に移っています。今回のアクティビティから大きな「心の支援」を頂いたような気がします。

久慈ライオンズクラブ、田野畑ライオンズクラブ、そして私たち宮古岩手ライオンズクラブの大先輩であるチャーターメンバーに心より感謝申し上げます。

## 5R1Z 宮古岩手ライオンズクラブ

事務所:宮古市築地1丁目1-31  
TEL:0193-62-6383 FAX:0193-62-6387

会長	篠 透
幹事	松田 和夫
会計	宮澤 文子
会員数	29名
結成日	1964.4.24
チャーターナイト	1964.5.2
例会日	【第1木曜日】18:30~ 【第3木曜日】18:30~
例会場	宮古市新川町4-1 レストラン ほりた

ライオンズクラブ国際協会331-A地区(北海道)主催

# 「絆・ともに頑張ろう」 交流少年野球大会報告

報告：教育委員会 副委員長 L.外里文人(久慈LC)



8月2日～3日にかけて行われた、交流野球大会に出席してまいりました。8月1日22時八戸発のフェリーに乗り、8月5日4時30分の八戸到着のフェリーで帰って来るといふ4泊5日の長い行程のアクティビティでした。我が久慈LCからは久慈ファイヤーズスポーツ少年団が参加し、北海道6チーム、岩手県3チーム、宮城県3チームの計12チームが参加し、北海道チームと岩手、宮城チームが対戦するという日程でした。

開会式は331-A地区ガバナーの挨拶から始まり、開催地の長沼町長の祝辞、332-B、332-C地区ガバナーの謝辞などのプログラムが用意され、厳かに執り行われました。

その後、2ヶ所の会場において交流試合を開催しました。正式なプログラムにおける交流試合は2日で2試合と物足りない試合数でしたが、北海道チームの計らいにより他に練習試合を2試合組むことができました。試合の勝敗は、初日の滝川チームとは0対15で久慈ファイヤーズの圧勝、翌日の当別

チームとは6対6の引き分けに終わり、練習試合は1勝1分けとまずまずの結果を残せたようです。

1日目の昼食の後、昨年の3.11の時のことを中心とした意見交換会が行われ、北海道のチームから地震の時の状況やその後の対応などについての質問がなされ、津波の直接の被害のあった宮城県のチームからは、当時の状況や支援してくれた皆さんへの感謝の言葉などが述べられました。

2日目の試合日程が終了した後、子供たちは岩見沢の遊園地を満喫し、翌日は、小樽～札幌(大倉山や恐竜博)の観光を楽しみました。野球だけではなく、めったに行くことのできない北海道の観光地を探訪でき、子供たちに限らず同伴の父兄たちも大変満足していました。この度この様な大きなアクティビティを企画してくださった331-A地区の皆さまには、感謝の念に堪えません。今回の事業に参加して、やはり子供達の笑顔は何物にも代えがたい宝であると感じました。また、久慈ファイヤーズには連絡した日の翌日までに参加の可否をお願い

したり、この日程とは岩手県大会が重なっているため、場合によっては県大会を辞退しなければならぬというリスクを負うなど、かなり無理な状況の中参加に関して快諾いただきました。久慈ファイヤーズには大変感謝いたします。

今大会には、田野畑や宮古、釜石、大船渡など、津波の大きな被害を受けたチームの参加がありませんでした。本来、そのようなチームの参加を願っていたことでしょうか、父兄や監督などが時間を取れないなどいろいろな事情があり、久慈以外の2チームは水沢のチームとなったようです。このことから、未だ津波の被害は過去のものではなくまだまだ続いているのだと痛感させられました。我が久慈LCも9月末には「ライオンズクラブ杯新人野球交流大会」を開催いたします。今回は10回目の記念大会であることから、被災地など久慈地区以外のチームを招待しての大会を予定しております。子供たちにとって、ほんの少しでも心に残るような大会にしたいものです。

事故もなく無事帰ってまいりました。あまり役に立たない私でしたが、練習試合で主審をやりました(二日間筋肉痛になりました)ので、ちょっとは…と自負しております。

子供たちの未来にWe Serve.





## 北海道遠征へ 行っての感想

外館 凌  
(久慈ファイヤーズ 6年)

試合は、北海道に着いてから二日間ありました。試合は、もみじ台オールスターズや、滝川や、当別、大栄と、二日間で四試合やることができました。どこのチームも強くて、それぞれ色々なチームカラーがあって、様々なチームと試合ができたので、良い経験になったし、楽しかったです。

試合の他にも、色々な場所を観光できました。札幌ドームや恐竜展、大倉山ジャンプ台、岩見沢グリーンランドなど、たくさんの所に行きました。

今回は、北海道でたくさんの元気をもらいました。これからは、ぼくたちも野球では元気いっぱいプレイをし、みなさんへの感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

## 青少年野球大会に 参加して

佐々木 一朗  
(SSスポーツ少年団 6年)

北海道に着いてからの初日、僕はすぐに長沼球場に行きました。長沼球場はとても立派で「こんなところで試合ができるのかあ」と思いとても嬉しかったです。一日目の試合、当別ヴィングスはとても強いチームでしたが、

勝てたので良かったです。一日目の試合が終わり、ホテルへ行きました。宮城県のチームや、岩手県のチームと交流ができて良かったです。

僕は、北海道にはこのとき以外にも行ったことがあるけど、これまで北海道が「面白い」「楽しい」と思えたのは初めてです。このような機会を企画してくれて協力してくれた人達に感謝しています。

## かけがえのない 宝物

千葉 琉宇成  
(US水沢ファイターズ 6年)

この北海道遠征で、普段では絶対にはできないたくさんの貴重な経験をすることができました。いつも一緒に野球をしている仲間

と北海道まで行って試合ができたことが一生の思い出になりました。また、普段対戦できない北海道のチームのみなさんと交流しながら対戦できたことも、大切な思い出になりました。

このような機会を作ってくださった北海道のみなさんに心から感謝しています。五日間本当にありがとうございました。

## 思い出に残った 遠征

伊藤 一馬  
(久慈ファイヤーズ 5年)

この遠征を通じてたくさんの人たちにお世話になりました。審判をやってくださった方やライオンズの方などに感謝したいです。それとカレーなどをボランティアで作って頂きありがとうございます。そして久慈の大会ではお世話になったので優勝したいです。一緒にバスに乗って一緒に行動した水沢のチームの人たちと県大会で会いたいです。

ぼくたちを招待して頂きありがとうございます。



# フィンランドからやって来た!

ホストファミリーの思い出



## YCE生を迎えて

L.佐藤英耕 (水沢中央LC)

7月10～20日まで、北欧フィンランドの首都ヘルシンキから東へ40キロほど行ったところにあるポルポーという町から来た、17歳の女の子「ラウラ・マンニネン」をわが家で預かりました。

10日朝に成田空港まで出迎えに行きましたら、17歳のラウラにとっては大変不安な旅だったそうで、出迎えた私たちの「WELCOME LAURA」の紙を見つけると、ホッとして涙を流しながら近づいてきました。長旅で睡眠不足のラウラでしたが、まずは日本の観光名所である浅草見物に連れて行きました。当日は真夏日で、モスクワの上に位置する涼しい町から来たラウラには厳しい暑さだったでしょうが、私たちに心配をかけまいと「ダイジョウブ、ダイジョウブ」と言いながら笑顔で元気に歩いたり、人力車に乗ったりしました。

妻と娘は英語が話せるのですが私は英語が全く話せず、ラウラも日本語は大好きな日本アニメを見て勉強したそうですが日常



▲水沢中央LC会長宅にて

会話ができるほどのレベルではありませんでした。しかし最近では便利な機械ができていて、スマホの翻訳機能をフルに活用し、日本語を英語やフィンランド語に文字変換し、それを指しながら何とか会話ができました。

10日間は、市長の表敬訪問から始まり、お琴の体験、舞踊集団わ組の観劇、及川会長宅での歓迎バーベキューパーティー、松島観光、盛岡手作り村での冷麺作り体験など、日本の伝統文化の紹介に努めました。クラブのメンバーや家族の方々からは、通訳や随行、食事などを積極的に申し出ただけ、多くの方々のご協力と励ましを頂き感謝しております。

この10日間は私にとっては、娘が一人増えたようで、妙にウキウキとした楽しい日々でした。

## フィンランドからやって来た

L.高橋悦見 (水沢LC)

去る7月10日ラウラ・マンニネンさんが来日し、後日、小万梅YE佐藤さんの料亭で初対面した。日本のアニメに非常に興味を持っていると云うのでそれは長男夫婦に対応してもらい、妻には食事担当の役割を担ってもらった。日本のアニメはフィンランドまで届くほど国際的になり、凄いことであると実感した。

ラウラ・マンニネンさんの趣味は絵を描くこと、写真、手芸と器用な方でした。マンガが好きで、性格は陽気、父はエンジニアで母は看護師であるという。フィンランドの位置は、ノルウェーの対岸でロシア寄りであり、北に位置する涼しい国ですが、来た時期が丁度記録的な日本の暑さと重なり、我が家には冷房が無かったため、買い求めてしまった始末でした。



▲ざっつあかまつりに参加



▲高橋ファミリーと



KAMAISHI SHINBUN  
**復興釜石新聞 掲載**

**北海道の中学生 郷土芸能や漁業体験で交流**

力強い踊りを披露し、地元住民らと交流する  
東中の生徒



**釜石リアス LC など事業を助成**

**上富良野町から10人**

北海道上富良野町の  
上富良野東中の生徒  
ら21人が3泊4日の日  
程で釜石市を訪問。7  
日は鶴住居町の長内集  
会所で上富良野の郷土  
芸能を披露した後、地  
元住民から津波体験や  
避難時の話を聞くなど  
して交流を深めた。

同校の井溝(いたし)久美子教諭(33)が昨  
年7月と今年1月、大  
学時代の友人を応援し  
ようとボランティアで  
釜石を訪れたのがきつ  
かけ。支援活動をする  
中で「生徒たちに被災  
地を見てもらい、復旧、  
復興に携わる人々と交

**鶴住居、箱崎から被災の姿学ぶ**

流させたい」と思うよ  
うになったという。  
その思いを受け、友  
人の父親、植田收さん  
(63)が中心となり、文  
化交流や被災地の震災  
からの復興過程を体験  
してもらう交流会を計  
画。釜石リアスライオ  
ンスクラブの青少年健  
全育成事業と岩手県共  
同募金会の住民支え合  
い活動助成事業の支援  
を受け実現した。

北海道の中学生との交流会(釜石リアスLC)



**We Serve!**

**8月のアクティビティ**

JR水沢江刺駅前清掃(水沢中央LC)



ライオンズの森環境整備(紫波LC)



# August Activity

1R1Z			
盛岡LC	22日	LCIF\$20献金	
	22日	ひかりの箱募金	
盛岡不來方LC	23日	LCIF\$1000献金	
盛岡中津川LC	28日	盛岡レオクラブスポンサー協力金	
盛岡鶴武LC	22日	LCIF\$1000献金	
盛岡南LC	12日	盛岡花火の祭典後の清掃活動	
滝沢LC	30日	献血推進活動	
玉山姫神LC	7日	東日本大震災 こども支援「夏休み牧場体験」	
	9日	ライオンズ公園 整備作業	
1R2Z			
岩手LC	7月30日・8月1・8日	第32回巣箱作り講習会(3箇所で開催)	
葛巻LC	1日	ガールスカウト団へ活動助成金の贈呈	
二戸LC	5日	ユネスコ「平和の鐘を鳴らそう」に協力	
	20日	暴力団追放二戸地区民会議総会	
西根LC	26日	献血推進活動	
	28日	献血推進活動	
安代LC	4日	第21回りんどう苑夏まつり	
	28日	献血推進活動	
2R1Z			
花巻LC	5日	第19回豊沢川クリーン作戦	
	5日	「グスコブドリの伝記」上映協力	
	19日	花火大会会場河川敷清掃	
紫波LC	24日	薬物乱用防止推進運動	
	26日	ライオンズの森環境整備	
石鳥谷LC	6日	第39回石鳥谷書道大会	
	7日	清光学園花火大会	
	15・16日	石鳥谷まつり協力、終了後の清掃奉仕 チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)	
大迫早池峰LC			
花巻東LC	5日	豊沢川クリーン作戦	
東和猿ヶ石LC			
矢巾LC	1日	「矢巾町水辺の里」の環境整備と清掃	
	5日	矢巾中学校、野球全国大会出場支援	
	10日	防犯パトロール	
2R2Z			
北上LC	7月1日~31日	資源回収リサイクル活動	
	10・17・19日	環境保全 花壇整備と清掃奉仕	
	24日	献血推進活動	
	29日	「わたしの主張」北上地区大会支援	
和賀LC	5日	花壇整備	
	6・16日	献血推進活動	
	21・28日	資源回収	
北上国見LC	9日	東日本大震災被災地支援 買い物ツアー	
	12日	早朝清掃奉仕	
	16日	献血推進活動	
	29日	「わたしの主張」北上地区大会支援	
江釣子LC	10・20・24日	LCIF\$1000献金 3名	
	8・15日	資源回収	
	9日	東日本大震災被災地支援 買い物ツアー	
	12日	献血推進活動	
3R1Z			
	水沢LC	4日	「後藤新平像」並びに周辺の清掃作業
		22日	「地球のステージ」事業協力
23日		水沢まちづくり運動協議会	
23日		奥州市水沢青少年育成市民議会	
江刺岩手LC	7月26日	銀河の集いバーベキュー交流会	
	1日	奥州市体育協会	
	22日	奥州市ミニバスケットボールジャンボリー大会	
	22日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金	
	22日	ひかりの箱募金 送金	
前沢LC	22日	「地球のステージ」事業協力	
	19日	献血推進活動	
	3日	「まえざわ苑」夏祭り協力	
水沢中央LC	4・5日	ライオンズクエストワークショップ 開催	
	3日	LCIF\$1000献金	
	7日	JR水沢江刺駅前清掃	
22日	「地球のステージ」事業協力		

金ヶ崎LC	11日	献血推進活動
	26日	「愛は地球を救う」募金活動
	31日	使用済み切手 1,600枚送付
胆沢岩手LC		
3R2Z		
一関LC	21日	暴力団追放一関地方会議
	24日	周年記念像の入手入れ及び市役所前清掃
平泉LC	1日	平泉をきれいにする会
	23日	リレーフォーライフ2012
花泉LC	7日	花泉町夏祭りフリーマーケット参加(事業資金獲得)
一関中央LC	26日	月一努力奉仕 環境保全活動
一関厳美溪LC	26日	献血推進活動
	26日	24時間テレビ募金協力
	27日	使用済み切手 6,286枚送付
4R1Z		
千厩LC	2日	駒場交流公園草刈りの清掃作業
	16日	かわさき花火大会(東日本大震災物故会員供養花火提供)
大東岩手LC	7月22日	東日本大震災被災地支援 赤崎寄席、炊き出し
	7月23日	お笑い福祉士 特別一日講座
	7月26日	大船渡市赤崎地区全世帯にハガキによる励ましのメッセージの配布
	7月29日	猿沢中学校でライオンズクエストセミナー開催
東山LC	4日	「あした天気になーれ」にてチャリティーバザー(事業資金獲得)
藤沢岩手LC	11日	藤沢女子ソフト部全国大会出場支援
	11日	藤沢野焼きまつりにてライオンズテント村開設(事業資金獲得)
	12日	藤沢野焼きまつり協賛 ライオンズ賞提供
川崎岩手LC	16日	かわさき花火大会(ライオンズ物故会員供養花火提供)
	17日	北上川堤防早朝ゴミ拾い(子供会と合同実施)
	25・26日	県南中学女子ソフトボール大会支援
	28日	川崎岩手ライオンズ杯ゴルフ大会の実施
室根LC	7月29日	むろね夏祭りチャリティーバザー(事業資金獲得)
	5日	室根町内JR駅清掃
	16日	かわさき花火大会(東日本大震災物故会員供養花火提供)
4R2Z		
大船渡LC	5日	大船渡夏祭り会場の清掃活動
陸前高田LC	30日	大船渡市内小学校3校に図書費贈呈
住田LC	3日	ライオンズの森 刈払い
大船渡五葉LC	29日	陸前高田大隈つどいが丘商店街へ長イス20脚 贈呈
	7月11日	大船渡市老人クラブ連合会大運動会に協力
	5日	直接献血
5R1Z		
宮古岩手LC	10日	道の日in宮古
久慈LC	8日	三船久蔵十段出生地記念碑建立事業実行委員会
	10日	くじ奉仕のまちづくり団体協議会通常総会
	23日	献血推進活動
	24日	わたしの主張久慈大会協賛
田老LC		
陸中宮古LC	10日	道の日in宮古
田野畑LC	9日	思惟大橋公園清掃活動(ミニバススポ小と合同)
	30日	献血推進活動
岩泉龍泉洞LC	4日	老健施設「あおぞら」慰問
	5日	花壇除草
	29日	献血推進活動
5R2Z		
釜石LC	9日	釜石市戦没者追悼式
	21日	被災地域の草刈り
	22日	LL奉仕活動
遠野LC	5日	遠野市一斉河川清掃
	10・12日	障害者施設支援 リサイクル品回収
	24日	わたしの主張遠野地区大会
	28日	直接献血
釜石リアスLC	6~9日	「伝統芸能の交流で被災地に元気を」協力
	28日	使用済み切手 1,000枚送付
大槌LC		
陸中山田LC	3日	山田町内小学校水泳記録会後援
	9日	被災地買い物ツアー受入
ライオンズクラブ		
西根LS	28日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡LEO		
早池峰LEO		
石鳥谷LEO		
北上LEO		
一関二高LEO	6日	一関駅構内に花プランター設置
釜石LEO		

# 新聞で見る 8月の アクティビティ

胆江日日 H24年8月9日

## 早朝に美化奉仕の汗 公園の新平像周辺で

水沢LC  
水沢ライオンズクラブ(伊藤博会長)は、このほど、水沢公園内で美化活動を実施した。会員14人が参加し、伸びた雑草を刈り取るなど、奉仕の汗を流した。

同LC恒例の地域奉仕活動。早朝に集まり、同LCが建立に携わった後藤新平像の周辺を中心に、雑草を刈り集めた。

同LC事業委員長の岩瀬正義さんは「公園を訪れる人たちの多くが立ち寄る場所。メンバーの協力で、スムーズに作業ができた。すっかり奇麗になって、気持ちがいい」と笑顔をみせていた。



後藤新平像の周囲に生えた雑草を集める水沢LC会員

## 雑感 「龍声」

地区ガバナー  
L.千葉 龍二郎

私は今、ガバナー諮問委員会及びガバナー公式訪問を7ゾーン済ませ残す3ゾーンとなりました。その会場でお会いする方々に「腰、よくなりましたね」「お体に気を付けて」と色々ご心配の声を寄せられ、ただただ感謝しております。

昨年の大震災発生から12日後の朝、突然ベッドから起き上がる事が出来ない腰痛に襲われました。病院、整骨院へと通う日々が続きました。一時は車いすでの移動や松葉づえそして杖へとなん

と6ヶ月も通院生活をしました。

昨年5月盛岡での地区大会では、登壇にやむをえず水沢LC L.久慈の押す車いすでの登壇に、私自身これからどうなるのかなど心配もしました。腰が良くなり次は四十肩の後遺症、左肩が上がらず引き続き六ヶ月の治療生活、最近なんとか良くなり快適な毎日(酒を飲んだりゴルフをやったり)をおくっています。

そして今月S.18、19年生まれの同級会150人ほどが集まり「古

希」のお祝い事がありました。その時の話題は、子供の頃の「昔話」、参加していない友達の話「心配」そして健康「三大話し」をしている内に午前2時3時、やはりまだ若いを確認したのでした。

「人生七十 古来稀なり」今はちっとも稀ではなくなりました。しかし油断大敵、お会いする方々に「体に気をつけて」のお声に尚一層、気を引き締めて役務を全うすべく自分を律しつつ、明日へ向かいます。

## 訃報



故 L.菅原 陽一  
享年66歳(盛岡LC)  
1992年3月入会  
8月4日逝去



故 L.橋場 清廣  
享年58歳(葛巻LC)  
1996年2月入会  
8月24日逝去

元地区ガバナー

故 L.飯坂 重雄  
享年91歳(前沢LC)  
8月30日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

## 会員動向

### 8月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡不来方LC	菅原 雄二
紫波LC	小林 春夫
東和猿ヶ石LC	佐藤 進
北上LC	及川 澄子
	細目 格
一関巖美溪LC	佐藤 弘美
	滝上 きた子
	藤原 とよ子
住田LC	菅原 浩正
	坂下 光明
陸中宮古LC	武田 秀山
	段 基保
	村上 昇二
大槌LC	岩崎 泰彦
	鈴木 藤洋

### 8月 LCIF1000ドル献金者

クラブ名	会員氏名	回数
盛岡不来方LC	佐藤 昌彦	1
盛岡観武LC	根澤 将藏	1
北上国見LC	塩野 孝江	8
	今西 由真	16
	藤田 正美	2
江刺岩手LC	高橋 新次	1
水沢中央LC	及川 康憲	1

### 報告

2R2Z YCE・ライオンズクエスト委員  
L.菊池洋一からL.高橋秀樹(和賀LC)  
に交代しました。

### 訂正のお詫び

ライオンいわて織じ込みファイル所在地マップ中、東和猿ヶ石LCのライオンマークが抜けておりました。謹んでお詫び申し上げます。同上クラブ名簿中、水沢中央LC会長名に誤りがありました。会長L.及川康徳から及川康憲に訂正させていただきます。又所在地に「郡」が「群」に印刷された箇所がありました。こちらも含めてお詫び申し上げます。

## アクティビティ Photo グラフ

江刺岩手LC



奥州市ミニバス大会

川崎岩手LC



北上川堤防早朝ゴミ拾い

花泉LC



フリーマーケット参加

西根LS



献血推進活動

北上国見LC



被災地支援 買い物ツアー

釜石リアスLC



「伝統芸能交流」協力

千厩LC



交流公園草刈り清掃作業

金ヶ崎LC



「愛は地球を救う」募金活動

岩手LC



巣箱作り講習会

大東岩手LC



被災地支援 炊き出し

藤沢岩手LC



藤沢女子ソフト部全国大会出場支援

北上LC



献血推進活動

### 編集後記

残暑厳しい日々が続く当地では、雨が降らず水不足状態が続いております。雨待ちの状態ですが皆さんの地方ではいかがでしょうか、西日本の方は大雨で被害が大きく、日本列島は昨年の3.11で東日本が壊滅状態に陥り、今年は大雨で西日本がやられ、日本列島試練の年が続きますね。復興の年と言われておりますが、ライオンメンバーの活躍の場が益々増えそうです。

今年の7月から広報担当になって早3ヶ月になりますが、毎月の会報作りは大変だろうなあと思いつつ、表紙の掲載写真をあれこれ思案しながら撮影ポイントを求めて歩いております。祭りのような動きのある被写体を撮るのは難しいですが季節物でもありますので、時々はこちらも掲載していきたいと思っております。

尚、毎月の会報作成には、各クラブの原稿や写真が必要です。締切りまでには間に合います様、ご協力をお願い致します。

広報委員 L.岩淵正義

### 表紙の説明：前沢白鳥館遺跡

北上川に周囲を180度以上囲まれる天然の要害であり、10世紀から16世紀まで北上川の要衝地として利用されてきた。雄大な北上川に守られる景観は絶景である。伝承によると安倍頼時の八男白鳥八郎則任の居城跡とされ、中世には白鳥氏が居城したと伝えられる。平成17年7月に、衣川区の長者ヶ原廃寺跡とともに国の史跡「柳之御所-平泉遺跡群」に追加指定された。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

### 広報委員会

発行 2012年9月25日

発行人：L.千葉龍二郎

広報委員長：L.久慈勝範

副委員長：L.平澤真樹

広報委員：L.岩淵正義、L.高橋晋、L.高橋テルミ

L.千田郁夫、L.佐々木利幸

デザイン：有限会社 アドスタッフ

印刷：株式会社 正和印刷所

編集事務局：〒023-0818 奥州市水沢区東町4番地

ダイコー壱番館水沢商工会館ビル3F

TEL(0197)23-6516 FAX(0197)23-3176